

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

トリプルネガティブ乳癌に発現するマイクロ RNA の解明

1. 研究の対象および研究対象期間

2010 年 1 月 31 日～2011 年 12 月 31 日に当院で乳がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

マイクロ RNA (miRNA) は、血液など体液中に含まれる RNA です。塩基の長さは 22 塩基ほどの小さな RNA なので、スモール RNA とも呼ばれています。

近年、マイクロ RNA には約 2500 種類が存在し、さまざまな働きをすることが分かってきました。

疾患別にマイクロ RNA の機能を解析していくと、健常者に比べて発現量に差があることも発表されています。たとえば、乳癌では miR-195 の測定値が高いことが報告されています。

トリプルネガティブ乳癌 (TNBC) は転移や再発率が高く手術をしても予後不良な疾患です。決められた抗がん剤が必ずしも効くことはないために治療法が研究されています。

私たちは、過去に当院で手術された患者様の検体を使って miR-195 以外にも TNBC 特異的に発現するマイクロ RNA を明らかにすることを計画しました。特異的に発現するマイクロ RNA が分かれば早期発見の指標となります。予後不良の TNBC でも早期に治療を始めることで再発や転移を防ぐことができると考えられます。また、特定したマイクロ RNA を治療のターゲットと定めることで、新しい創薬であるマイクロ RNA 核酸医薬の開発につながることができます。調査方法は免疫染色法を使って組織全体に発現するマイクロ RNA を調べて染色された陽性率を計測します。

研究期間

2016 年 9 月 28 日～2018 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：トリプルネガティブ乳癌の腫瘍組織 100 例。

情報：カルテの病理診断病理検体報告書に記載されたエストロゲン、プロゲステロン、HER2 のタンパク質発現の有無。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学病院（医学部薬理学講座 医科薬理学部門）

研究責任者：佐々木晶子

住所： 142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8125